

ふくしま心のケアセンター
地域アルコール対応力強化事業
(アルコール・プロジェクト)
令和3年度 報告書

一般社団法人福島県精神保健福祉協会

ふくしま心のケアセンター

目 次

1. アルコール・プロジェクトの概要・・・・・・・・・・・・・・・・	87
1) 地域アルコール対応力強化事業の目的	
2) 令和3年度活動方針	
3) アルコール・プロジェクトのメンバー	
2. 人材育成・研修・・・・・・・・・・・・・・・・	88
1) 令和3年度関係者向け研修会「生活習慣病と節酒(減酒)指導」 (WEBセミナー型)の開催	
3. 地域活動への支援・・・・・・・・・・・・・・・・	88
1) 福島県県中保健福祉事務所職員への研修	
2) 福島県県中保健福祉事務所家族教室における講師及び教室運営サポート	
3) 郡山市保健所アルコール・ギャンブル等家族相談における教室運営サポート、アドバイザー	
4) いわき市アルコール家族教室(カモミールの会)における講師及び教室運営サポート	
4. その他・・・・・・・・・・・・・・・・	90
1) 福島県精神保健福祉センター主催令和3年度アディクション関連問題に携わるスタッフのためのミーティングへの参加	
5. 課題と展望・・・・・・・・・・・・・・・・	91

1. アルコール・プロジェクトの概要

ふくしま心のケアセンター「アルコール・プロジェクト」は、福島県より委託された被災者の心のケア事業の一環として「地域アルコール対応力強化事業」を実施するために、平成26年4月に発足した。

1) 地域アルコール対応力強化事業の目的

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による環境の変化や見通しが立たない避難生活等は、多くの県民に多種多様なストレス症状を引き起こしており、うつ傾向の割合の増加が見られている。また、訪問支援等を行っている支援者からは、飲酒問題が関係する相談や支援の難しさが報告されている。

このような背景から、地域の中でアルコール関連問題への取り組みを強化することを目的に、ふくしま心のケアセンター内にプロジェクトチームを設置し活動を行っている。プロジェクトチームでは、地域支援者の人材育成を通して、地域のアルコール関連問題への対応力強化を図ると共に、被災者への支援及び普及啓発を展開する。

2) 令和3年度活動方針

一次予防を中心に、二次・三次予防も念頭に置きながら事業を進める。研修会は引き続き節酒支援をテーマに、事例検討を交えながら実施し、支援者の理解と対応力を深める。その他、保健所等が実施するアルコール家族教室への協力、被災地の健康イベント等における啓発活動、自助グループ等の関係機関・団体と連携した活動を実施する。

3) アルコール・プロジェクトのメンバー

◎チームリーダー ○サブリーダー ※オブザーバー

前田正治（ふくしま心のケアセンター副所長・福島県立医科大学災害こころの医学講座 主任教授）

◎菅野寿洋（ふくしま心のケアセンター基幹センター 主任専門員）

○佐竹美紀（ふくしま心のケアセンター基幹センター 専門員）

泉真実子（ふくしま心のケアセンター基幹センター 事務員）

佐藤彩（ふくしま心のケアセンター県北方部センター 専門員）

近嵐舞美（ふくしま心のケアセンター県中・県南方部センター 専門員）

米倉一磨（ふくしま心のケアセンター相馬方部センター センター長）

工藤慎吾（ふくしま心のケアセンター相馬方部センター 専門員）

小野るみ（ふくしま心のケアセンターいわき方部センター 専門員）

大竹貴子（ふくしま心のケアセンター会津出張所 主任専門員）

木原英里子（ふくしま心のケアセンターふたば出張所 専門員）

※石堂正章（福島県保健福祉部障がい福祉課 保健技師）

※三瓶真美（福島県精神保健福祉センター 保健技師）

2. 人材育成・研修

1) 令和3年度関係者向け研修会「生活習慣病と節酒(減酒)指導」 (WEBセミナー型)の開催

目的：住民の関心が高い“健康”や“生活習慣病”とアルコールの関連性に視点を置き
保健指導の一環としての介入方法の基本を学ぶ。また、事例を通して具体的な節
酒支援のスキルを身につけることを目的とする。

日時：令和3年9月7日(火) 13:00～15:30

形式：WEBセミナー(使用システム：Zoom ウェビナー)

対象：被災者支援に携わる支援者、医療・保健・福祉従事者、関係機関の職員

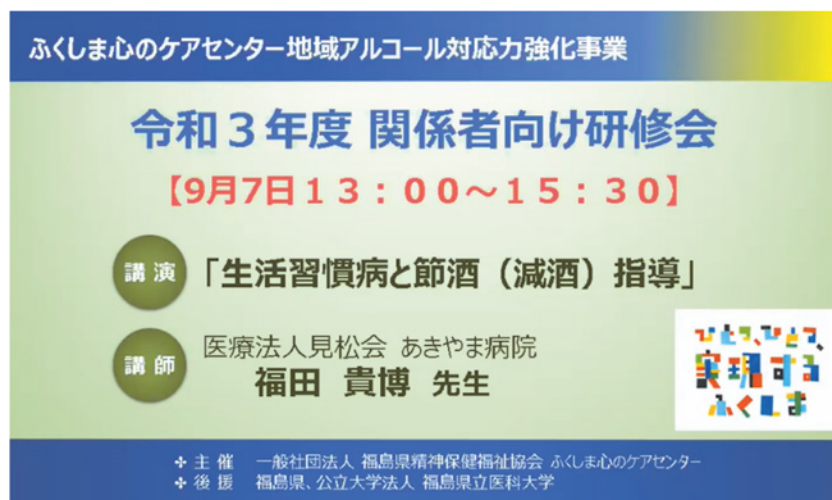
参加者：参加申込者数 121 名、視聴者デバイス数 83 台(スタッフ含む)

内容：講演 「生活習慣病と節酒指導」

講師 医療法人見松会 あきやま病院 福田 貴博 先生

主催：一般社団法人 福島県精神保健福祉協会 ふくしま心のケアセンター

後援：福島県、公立大学法人 福島県立医科大学



3. 地域活動への支援

1) 福島県県中保健福祉事務所職員への研修

令和3年5月24日「CRAFT 及び家族教室についての講話」保健師 3 名

2) 福島県県中保健福祉事務所アルコール家族教室における講師及び教室運営 サポート

場所：県中保健福祉事務所

対象：アルコールに関する悩みを抱えるご家族

日 程	内 容	参加者数
令和3年 6月18日	「CRAFT：CRAFT を用いたプログラムについて」	4名
令和3年 7月8日	「CRAFT：状況をはっきりさせよう」	3名
令和3年 10月14日	「CRAFT：安全第一/暴力への対応」	4名
令和3年 11月11日	「CRAFT：コミュニケーションを変える」	4名
令和3年 12月9日	「CRAFT：イネイブリングをやめるとは？」	2名

主 催：県中保健福祉事務所

講 師：県中・県南方部センター 主任専門員、専門員

3) 郡山市保健所アルコール・ギャンブル等家族相談における教室運営サポート、アドバイザー

場 所：郡山市保健所

対 象：アルコール・ギャンブル等に関する悩みを抱えるご家族

日 程	内 容	参加者数
令和3年 5月26日	「CRAFT：CRAFT を用いたプログラムについて」	4名
令和3年 6月23日	福島県精神保健福祉センターによる講演 「依存症の方の支援について」	8名
令和3年 7月28日	「CRAFT：どんな問題か明確にしましょう」	2名
令和3年 10月27日	「CRAFT：暴力と安全第一とは」	5名
令和3年 11月24日	福島県精神保健福祉センターによる講演 「依存症の方の支援について」	6名
令和3年 12月22日	「CRAFT：より良いコミュニケーション」	5名

主 催：郡山市保健所

教室運営サポート、アドバイザー：県中・県南方部センター 主任専門員、専門員、アルコール・プロジェクトメンバー

※令和3年6月23日、令和3年11月24日については開催協力

4) いわき市アルコール家族教室（カモミールの会）における講師及び教室運営サポート

場 所：いわき市総合保健福祉センター

対 象：アルコールに関する悩みを抱えるご家族

日 程	内 容	参加者数
令和3年 7月9日	CRAFT「CRAFTを用いたプログラムについて」	5名
令和3年 10月29日	CRAFT「より良いコミュニケーション」	7名
令和3年 11月26日	CRAFT「家族自身の生活をより良くするために」	5名
令和3年 12月10日	CRAFT「望ましいことを増やしましょう」	4名
令和4年 1月14日	CRAFT「治療を勧めてみましょう」	3名

主 催：いわき市保健所

講 師：県北方部センター 方部課長、アルコール・プロジェクトメンバー

4. その他

1) 福島県精神保健福祉センター主催令和3年度アディクション関連問題に携わるスタッフのためのミーティングへの参加

日 時：令和3年12月9日（木） 13：30～16：00

場 所：福島県精神保健福祉センター、ZOOM

対 象：アディクション関連問題に携わるスタッフ等

参加者：17名

内 容：講 演：「自殺の予防とリスクの早期発見のために大切な土台」

情報提供：「自殺対策のための相談マニュアル」から対応のヒント

5. 課題と展望

当センターが福島県から委託を受けて本アルコール対策事業に取り組んで 8 年目を迎えた。この間、専門職への研修や健診場面での支援等々、積極的に活動してきた。その効果もあったのか、たとえば県民健康調査の年次推移をみても、当初年度に比べるとゆっくりではあるものの、アルコールハイリスク者の率は減少している。我々の活動の大きな柱は、アルコール使用障がいになるまでの過程でそれを防ぐ一次予防、二次予防にあるし、具体的には節酒アプローチを進めている。ただ 2020 年に当センターで行った福島県内市町村へのアルコール対策に関するアンケート調査の結果をみると、多くの市町村で啓発的活動は必要と認識されているにも関わらず行われていないことや、節酒アプローチの重要性についてもまだ十分理解されていないことが明らかとなった。そういう意味でも、今後も当センターの果たす役割は大きいし、粘り強い活動を継続して行う必要がある。